

## 事業評価書（事前）

平成20年8月

評価対象（事業名）	昆虫媒介疾患対策
主管部局・課室	大臣官房国際課
関係部局・課室	
関連する政策体系	
基本目標 X	国際化時代にふさわしい厚生労働行政を推進すること
施策目標 1	国際社会への参画・貢献を行うこと
施策目標 1-1	国際機関の活動への参画・協力を推進すること
個別目標 1	世界保健機関が行う技術協力に対して協力すること
個別目標 2	国連合同エイズ計画が行う技術協力事業に対して協力すること
個別目標 3	経済開発協力機構が行う技術協力事業に対して協力すること
個別目標 4	国際労働機関が行うディーセント・ワーク実現のための技術協力に対して協力すること

## 1. 現状・問題分析とその改善方策(事業実施の必要性)

顧みられない熱帯病(Neglected Tropical Disease:NTD)の感染者数は約10億人であり、それがアフリカにもたらす健康や社会生活への負荷は莫大でかつ根深く、NTDと貧困の悪循環を断ち切る努力が求められている。

今年我が国で実施された第4回アフリカ開発会議(TICADIV)でもNTDは優先課題として取り上げられ、「横浜行動計画」の別表の中では、「厚生労働省がWHOの拠出金を通して、アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTD)の制御と撲滅の強化を行うこと」が記載されている。また、G8北海道洞爺湖サミットの議長総括においても、「顧みられない熱帯病(NTD)の統制又は征圧の支援に合意」されている。

NTDの中には、蚊や蠅などの媒介昆虫を介して感染する疾患がある。このような疾患の対策においては、水たまりや腐乱した動物死体の処理等の環境整備を通じた媒介昆虫の繁殖予防、殺虫剤散布(DDT)による殺虫、長時間持続型殺虫剤浸透蚊帳使用等による接触回避及びコミュニティにおける普及活動等を統合的に行っていくことが、予防の上で重要となる。

しかしながら、これまで、疾患別の対策により支援の重複が生じたり、住民の意識啓発を行わない単なる物資の配布による不適切な対策への偏り等の問題が生じていた。このため、世界保健機関(WHO)において、昆虫媒介疾患の感染を効果的に予防する統合媒介昆虫管理(Integrated Vector Management:IVM)が提案されている。IVMの導入は、新しく開発された技術の効果的な活用、住民への意識啓発の強化、支援の重複の回避等による確実な昆虫媒介疾患の予防効果が期待されるのみならず、複数の媒介昆虫を対象とした対策の推進によるコストの削減可能性についても、期待が寄せられている。

なお、WHOは、結核・エイズ・マラリアの三大疾患対策を指導するのみならず、NTDを含むその他の熱帯病に関しても積極的に取り組んでおり、我が国は、沖縄感染症対策イニシアティブ、寄生虫対策としての橋本イニシアティブをはじめ、これまでもWHOの広範囲な感染症対策に関して支援を行ってきたところ。

現状・問題分析に関連する指標		H15	H16	H17	H18	H19
1	殺虫剤浸透蚊帳の下で眠る5歳未満児（アフリカ地域）率(%)				36.0 (%)	集計中
2	殺虫剤浸透蚊帳の下で眠る5歳未満児（南東アジア地域）率(%)				10.0 (%)	集計中
(調査名・資料出所、備考) 出典 World Health Statistics2008 (世界保健機関出版) 表記の指標は、H18年のデータが最新値となっており、H19年のデータはH21年5月頃に更新される予定。 【参考】World Health Statisticsホームページ <a href="http://www.who.int/whosis/whostat/2008/en/">http://www.who.int/whosis/whostat/2008/en/</a>						

## 2. 事業の内容

## (1) 事業の実施主体

実施主体：国、厚生局、労働局（監督署、安定所、均等室）、検疫所 都道府県、市区町村、独立行政法人、社会福祉法人、公益法人 その他（国際機関（世界保健機関（WHO）））
---

## (2) 事業の内容（概要）

<b>新規・一部新規</b> 本事業は、統合媒介昆虫管理(IVM)を用いて、昆虫媒介疾患対策を推進するためのガイドラインの策定及びアフリカにおける昆虫媒介疾患の蔓延地域の担当官を対象にした研修指導を実施する。
---

## (3) 予算

一般会計・年金特会・労働保険特会・その他（ ）					
予算額（単位：百万円）	H17	H18	H19	H20	H21
					95 ( )
※「H21」については予算概算要求額 ※（ ）は、一部新規事業の拡充部分に係る予算額					

## 3. 事業の目標

<b>事業の目標</b> 昆虫媒介疾患の抑制	
政策効果が発現する時期	実施以降、一定期間経過後に、随時効果の発現が見込まれる。

## 4. 評価指標

アウトカム指標 (達成水準/達成時期)	本事業と指標の関連についての説明
1	
2	
(調査名・資料出所、備考) ※本事業の指標について、事業実施主体は国際機関であるため、事業計画が不確定な現時点での指標設定は行うことができない。	
アウトプット指標 (達成水準/達成時期)	本事業と指標の関連についての説明
1	
2	
(調査名・資料出所、備考) ※本事業の指標について、事業実施主体は国際機関であるため、事業計画が不確定な現時点での指標設定は行うことができない。	

参考指標	本事業と指標の関連についての説明
1	
2	
(調査名・資料出所、備考)	

## 5. 評価

## (1) 必要性の評価

行政関与の必要性の有無(主に官民の役割分担の観点から)	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> その他
(理由) 本事業は、長期的、世界的な視野に立った技術協力 (ODA) であり、国際機関を通じた協力を行う必要から、我が国政府が関与していく必要がある。			
国で行う必要性の有無(主に国と地方の役割分担の観点から)	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> その他
(理由) 国際機関を通じて技術協力を行う必要から、国として事業を行う必要がある。			
民営化や外部委託の可否	<input type="checkbox"/> 可	<input checked="" type="checkbox"/> 否	
(理由) WHOの有する専門的な知識やノウハウが必要なため、当該国際機関を通じて事業を実施する必要がある。			
他の類似事業(他省庁分を含む)がある場合の重複の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
(有の場合の整理の考え方)			

## (2) 有効性の評価

政策効果が発現する経路 (投入→活動→結果→成果)
(投入) 国際機関により事業計画を決定。日本から医師等の専門家の派遣。
(活動) 国際機関において専門家会議の実施、ガイドラインの作成、アフリカにおける研修の実施。
(結果) 事業実施国において、昆虫媒介疾患対策の推進。
(成果) 昆虫媒介疾患対策に係るガイドラインの策定、事業実施国における昆虫媒介疾患の減少等により、国際社会への参画・貢献を行う。
事業の有効性
昆虫媒介疾患対策については、TICADIV及びG8北海道洞爺湖サミットにおいて重要なものとして議論されており、これに係る支援を我が国が積極的に行うことで、世界的評価につながる。

## (3) 効率性の評価

事業の実施にあたり、当該分野において豊富な知識と経験を有する国際機関を活用することで、より効率的かつ的確な事業を実施することができる。
---

## (4) その他(上記の他、公平性及び優先性等、評価すべき視点がある場合に記入)

なし。
-----

(5) 政策等への反映の方向性

評価結果をふまえ、平成21年度概算要求概算要求において、所要の予算を要求する。

6. 特記事項

①国会による決議等の状況（警告決議、附帯決議等）  
なし。

②各種政府決定との関係及び遵守状況

TICADIV（第4回アフリカ開発会議）の横浜行動計画の別表に「厚生労働省がWHOの拠出金を通して、アフリカにおける顧みられない熱帯病（NTD）の制御と撲滅の強化を行うこと」と記載された。

またG8北海道洞爺湖サミットの議長総括において、「顧みられない熱帯病（NTD）の統制又は征圧の支援に合意」された。

③総務省による行政評価・監視及び認定関連活動等の状況  
なし。

④会計検査院による指摘  
なし。

⑤学識経験を有する者の知見の活用に関する事項  
なし。